

# ネットワーク大学コンソーシアム岐阜「地域連携シンポジウム」

## アンケート結果

### 自身について 年齢(SA)

No.	カテゴリ	件数	% (全体)	% (除不)
1	10代	1	1.3	1.3
2	20代	9	11.7	11.8
3	30代	9	11.7	11.8
4	40代	11	14.3	14.5
5	50代	26	33.8	34.2
6	60代以上	20	26.0	26.3
	無回答	1	1.3	
	サンプル数(%ベース)	77	100.0	76

### 職業など(SA)

No.	カテゴリ	件数	% (全体)	% (除不)
1	市町村職員	16	20.8	20.8
2	県職員	2	2.6	2.6
3	大学教職員	40	51.9	51.9
4	NPO・ボランティア団体関係者	8	10.4	10.4
5	学生	7	9.1	9.1
6	会社員	0	0.0	0.0
7	自営業	0	0.0	0.0
8	その他	4	5.2	5.2
	無回答	0	0.0	
	サンプル数(%ベース)	77	100.0	77

### 来場の目的(MA)

No.	カテゴリ	件数	% (全体)	% (除不)
1	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜に関心がある	37	48.1	48.7
2	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜との連携を検討したい	10	13.0	13.2
3	岐阜県内の(単体の)大学に関心がある	3	3.9	3.9
4	岐阜県内の(単体の)大学との連携を検討したい	5	6.5	6.6
5	美濃加茂市の取組に関心がある	9	11.7	11.8
6	「大学の地域連携」というテーマに関心がある	57	74.0	75.0
7	その他	2	2.6	2.6
	無回答	1	1.3	
	サンプル数(%ベース)	77	100.0	76

本日のシンポジウムの印象など

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の印象は。(SA)

No.	カテゴリ	件数	% (全体)	% (除不)
1	大変関心がある	19	24.7	25.0
2	関心がある	52	67.5	68.4
3	どちらでもない	5	6.5	6.6
4	関心がない	0	0.0	0.0
	無回答	1	1.3	
	サンプル数(%ベース)	77	100.0	76

シンポジウムに出席して、有益でしたか。(SA)

No.	カテゴリ	件数	% (全体)	% (除不)
1	大変有益であった	17	22.1	22.4
2	有益であった	56	72.7	73.7
3	どちらでもなかった	3	3.9	3.9
4	有益でなかった	0	0.0	0.0
	無回答	1	1.3	
	サンプル数(%ベース)	77	100.0	76

意見・要望など

- ・市の現場では現象にとらわれた対応に追われ根本的な課題を発見するに至っていない。
- ・分析や理論など行政を相対化する視点を提供してほしい。
- ・具体的にどのような連携ができるという例を教えてください。
- ・窓口がどこで、関われる対象の規模は小さくてもいいのを知りたかった。
- ・「地域連携シンポジウム」なので市町村側の意見がもう少し多く出るとよかった。
- ・今後、大学との連携による地域づくりにつなげたいと思います。
- ・市と大学とがいつでも気軽に協力しあえる、または、相談しやすい体制等づくりができればいいと思います。
- ・大変参考になりました。
- ・学びたいという意識があっても、その場に出かけて行くという事ができずにいる。一步外へ出る事、自分で学ぶ場所を開拓していくことは、長い人生で大切な事だと感じました。
- ・今までは、経大との連携のみであったが、多種多様な大学があり、それぞれの得意分野ともしっかり連携できればよりよいまちづくりができるのではないかと感じました。
- ・駅前サテライトでの講義をどんどん充実していただきたい。
- ・パネルディスカッションでのフロアからの質問が少なかったのが残念だった。
- ・大変よいシンポであった。
- ・大学と自治体の連携というシンポジウムに初めて参加させていただきました。非常に良いシンポジウムでした。学生らと伴に各自治体に「出前あそび」というような形で出かけていきますが、自治体の職員の方々の中には難しい方もいらっしゃる、連携という考え方がすべての方々に衆知していただければと考えます。
- ・今後、このような会議を開催して、どんどん深化させていくとよい。
- ・学生を表に出す方法は、参加した学生を優先的に就職させれば良い。リーダーシップがとれる人間ならば優秀でもあるでしょう。(端末ですが)

- ・中間に少しお休み時間が欲しかった。
- ・行政側から出た「市民力」をつけたいということばの中味は何か(抽象的なことばを待っている間は何も出ない)地域連携の中味は市民からの要望でなければならない。行政側に窓口がなければ、何を実施すれば市民力がつくのかわからない。呼びかけられて連携するのではなく、このことがやりたいから連携するという形でないと思えない。
- ・どの講義テーマも修了・認定制にすることは学習のはげみになると思います。
- ・産学コラボ(産:農工商連携)の実践報告学習をやる。
- ・コミュニティ論(2回)を始め、人間福祉学(2回)を学び、H21には地域活性化システム論を受講し、それぞれの資格を取得、今後活用したい。
- ・ネットワークコンソーシアムは新しい大学の授業体制だと思った。
- ・中津川の方の質問は、とても有益であった。回答もとても有益であった。
- ・生涯学習、人づくり…いろいろお話を聞くうちにそもそもどうしたいのか分からなくなりました。まず、生活を成り立たせるため、企業、働く場所、お金儲け、使い方、人とのつながり広域で考えていただけるなら、生涯ということであれば、生まれ、育ち、人の役に立ってその結果としての対価を得、有効に使い(人のため)老いて次につなぐ幸福な生活社会ができれば、あくまで方法論であり幸福な社会、世界を目指すその手本になるとか、方向、目的を明確にされるのがよいかなと感じました。
- ・生涯学習との関連をどのように見つけていくか課題であると感じました。
- ・今年度は前期「地域活性化システム論」、後期「NPOコミュニティ論」を受講し、「コミュニティ診断士」の資格をとることができました。とても、内容豊かで実践的な講義で満足(役立って)しています。まだまだこうしたとり組みが県民に広く周知されていないのが残念です。ぜひ広報(認知度を高める)を強めて下さい。

## 職業について

### 1. 市町村職員16人の担当分野について

情報企画	1
社会教育	2
企画部	1
生涯学習	4
企画・大学連携	1
市民活動	1
地域振興	1
教育研究所 学校支援地域本部コーディネーター	1
学校教育	1
企画 まちづくり	1
大学職員	1
未記入	1

### 2. 県職員2人の担当分野について

総務課(現地機関)	1
未記入	1

### 3. NPO・ボランティア団体関係者8人の活動分野について

教育	1
地域活動	1
コミュニティ診断士	1
国際交流スタッフ・体力づくり講師	1
視聴覚	1
富加町生涯学習人権擁護委員、富加町生涯学習アドバイザー	1
コミュニティ診断士、岐阜県生涯学習コーディネーター	1
未記入	1

### 4. 「その他」を選んだ4人の内容

社会人大学院生	1
岐阜県コミュニティ診断士	1
短大教員	1
未記入	1

## 来場の目的

### 「その他」を選んだ2人の内容について

- ・授業との兼ね合いで
- ・大学講義の一つとして